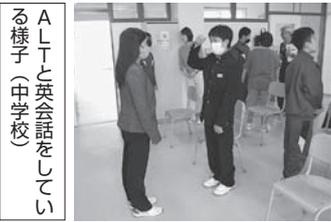


本校ならではの外国語活動

茂辺地小中学校では、日頃から外国語に親しむ活動に取り組んでいます。毎週火曜日と木曜日はイングリッシュデイとし、先生方や友達と廊下ですれ違ったりしたときに英語であいさつをするなど、楽しく慣れ親しめる環境の中でさまざまな取組をしています。今回は本校の外国語活動について紹介します。

朝英語の紹介

本校では、外国語推進委員会の教諭が中心となり、年間の指導計画に沿って、毎週火曜日と木曜日の朝に、英会話活動を行っています。中学校では、今年度から朝英語を本格的にスタートしました。自己紹介や好きなことなど、簡単な表現内容ではありますが、生徒たちは短い時間で、たくさん先生方と英会話を通してコミュニケーション活動を楽しんでいます。必ずしもスラスラ完璧な英語を話さなければいけないということではなく、自然体で楽しく、失敗をしてもなんとか伝えようとするこの活動が児童生徒の自信にもつながっています。



ALTと英会話をしている様子(中学校)



校長先生と英会話をしている様子(小学校)

イングリッシュキャンプ

今年度は夏休み初日の7月27日(木)にイングリッシュキャンプイン茂辺地が開催されました。主催は北斗市教育委員会ですが、茂辺地小中学校でも児童生徒そして教職員も積極的にこの活動に参加しています。茂辺地町内を歩き回りながら、先生、ALT、遺愛高校生、北斗市の職員の人たちと簡単な英会話を通してコミュニケーションを楽しみました。午後の活動では、グループに分かれ、遺愛高校生のリードで、感想などを英語で発表しました。どの児童生徒も自信に満ち溢れた笑顔で活動を終えることができました。



パンフレット配布活動

中学校では茂辺地の魅力をたくさんの人にPRしようという目標の下、茂辺地のパンフレットを作成しました。パンフレットは、日本語と英語の2カ国語で表現しています。2年生の宿泊研修(函館市内)や、3年生の修学旅行(岩手県)でも配布活動をしました。伝えたいことをみんなが話し合いながらパンフレットを作成し、10月28日(土)には、数年ぶりに小中合同で函館駅周辺に行き、観光客に向けた配布活動をしました。道行く観光客に話しかけることはとても勇気のいることでした。児童生徒はペアで協力しながら外国人や日本の観光客にパンフレットを配布し、茂辺地の魅力をPRすることができました。今後は、これらの活動の成果と課題をまとめ、11月25日(土)にふるさと学習として、発表会をします。



パンフレットを見せながら外国人観光客にPRしている様子

パンフレットPR後に快く写真撮影に応じてくれました。



ハロウィン集会

毎年10月末に茂辺地小中学校ではハロウィン集会を行います。北斗市のALT4人にも参加してもらい、「トリック・オア・トリート」と言いながら校内を歩き回り、先生方やALTたちと簡単な英会話活動を行い、キャンディーをもらい楽しみました。

先生方やALTたちと英会話活動をしている様子



クリスマス集会

クリスマスの時期になるとクリスマス集会を行います。今年は、中学生がどんな活動をしたらよいか、企画を考えて進めていく予定です。小学生が楽しんで英会話活動ができるように考えることもとても大切な取組です。



昨年のクリスマス集会。ポージングゲームをしている様子

(茂辺地中学校 教諭 會津 聡子)